

# 令和8年度 呉市立吉浦中学校区 研究構想図

## 学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

- 自利 自分のよさに気づき、そのよさを豊かに表現できる児童生徒
- 利他 相手を思いやる心もち、友だちと力を合わせる児童生徒
- 貢献 生まれてきたことを喜び、家族・地域に感謝・貢献する児童生徒

## 研究主題

互いに高め合いながら、自ら考え表現する児童生徒の育成  
～「伝え合い」と「振り返り」の充実を通して～

## 研究仮説

授業において「伝え合い」と「振り返り」を充実させれば、児童生徒は互いに高め合いながら、自ら考え表現することができるであろう。

## 研究内容

### 小中合同研究

〈小中一貫教育運営委員会〉 校長・教頭・教務主任・研究主任  
・小中一貫教育コーディネーター・生徒指導主事

#### 【授業スタイル】

「めあて」：単元の目標につながる児童生徒主体のゴール設定をする。

「チャレンジ」：個別最適な学習方法を設定し自ら学ぶ場を保证する。

「伝え合い」：自分の考えを互いに共有することで思考を深め、表現する力を育む。

指導者からの形成的評価や友達との伝え合いを受け、考えを付加・修正することで「めあて」を達成する。

「振り返り」：評価の3観点（学習のまとめ・自分の思考・学習のメタ認知）

に沿って、自己の学びを認知する。

## 検証の指標および達成目標

【視点1】「伝え合い」に関わる項目で肯定的回答が高まったか。（肯定的回答80%以上）

【視点2】「振り返り」に関わる項目で肯定的回答が高まったか。（肯定的回答80%以上）

【視点3】児童生徒の学力が向上したか。（小学校：全国平均以上・中学校：全国平均以上の教科・学年の増加）

## 検証の方法

○児童生徒アンケート（5月・12月）

○標準学力調査（全学年）